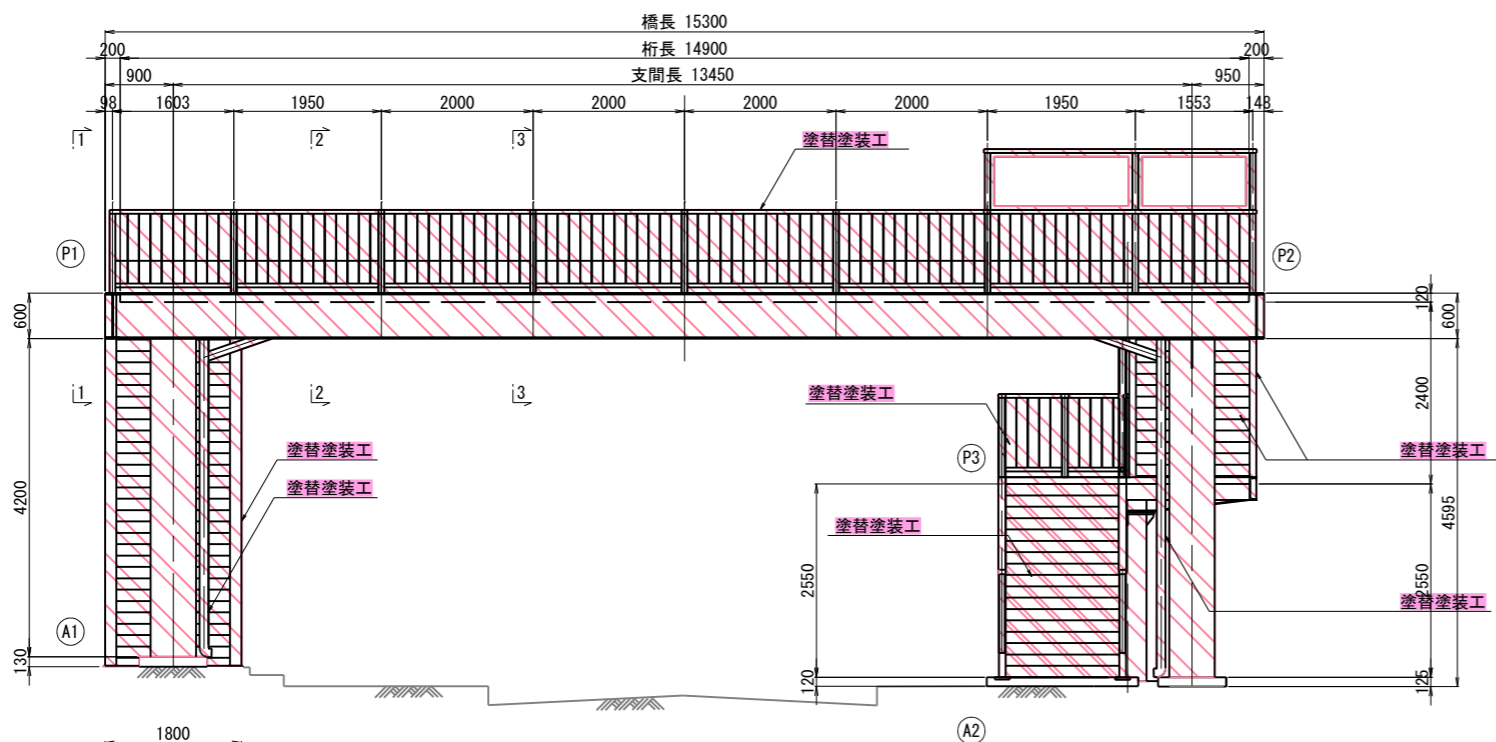
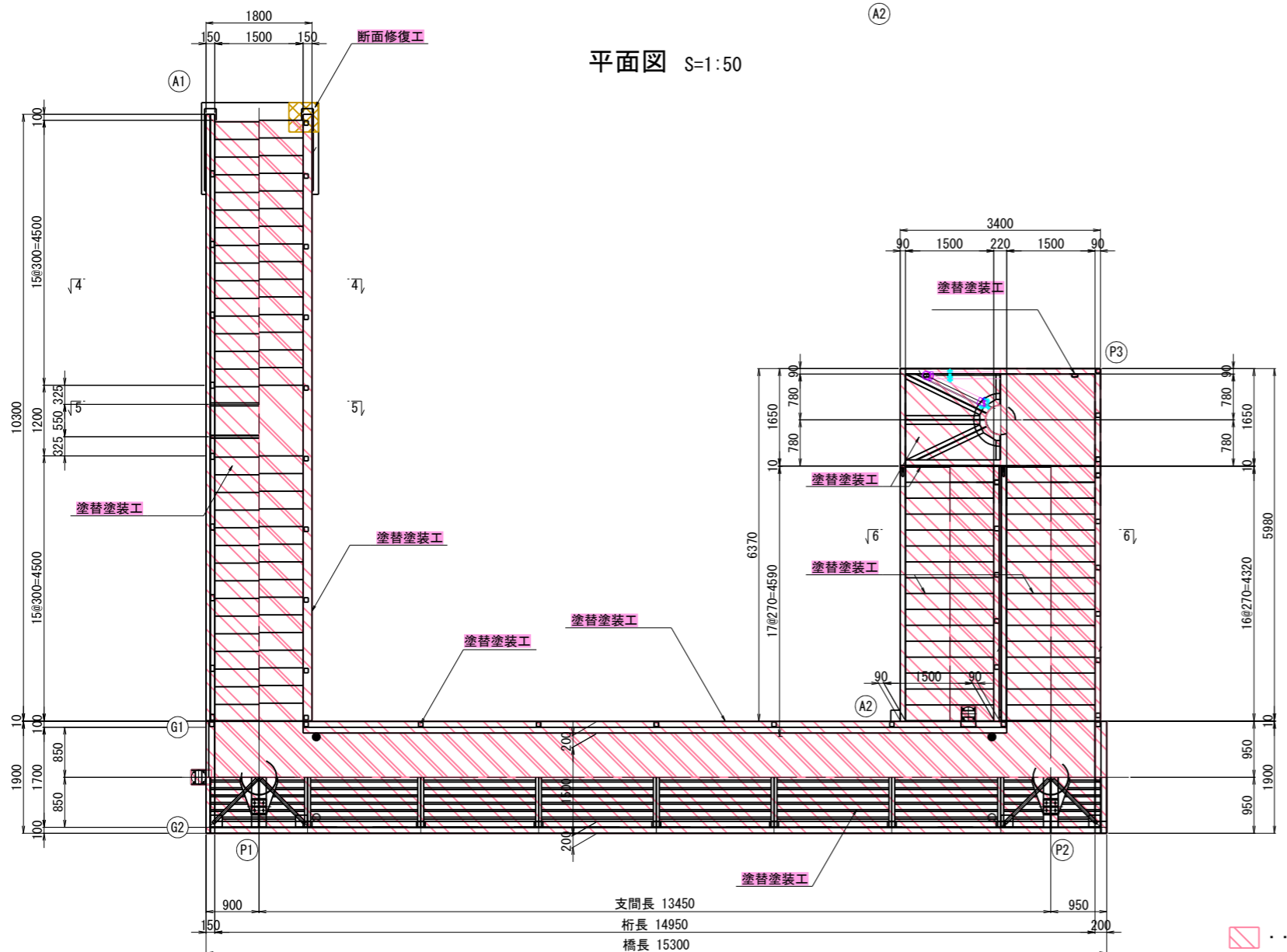


愛宕歩道橋 補修一般図 S=1:50

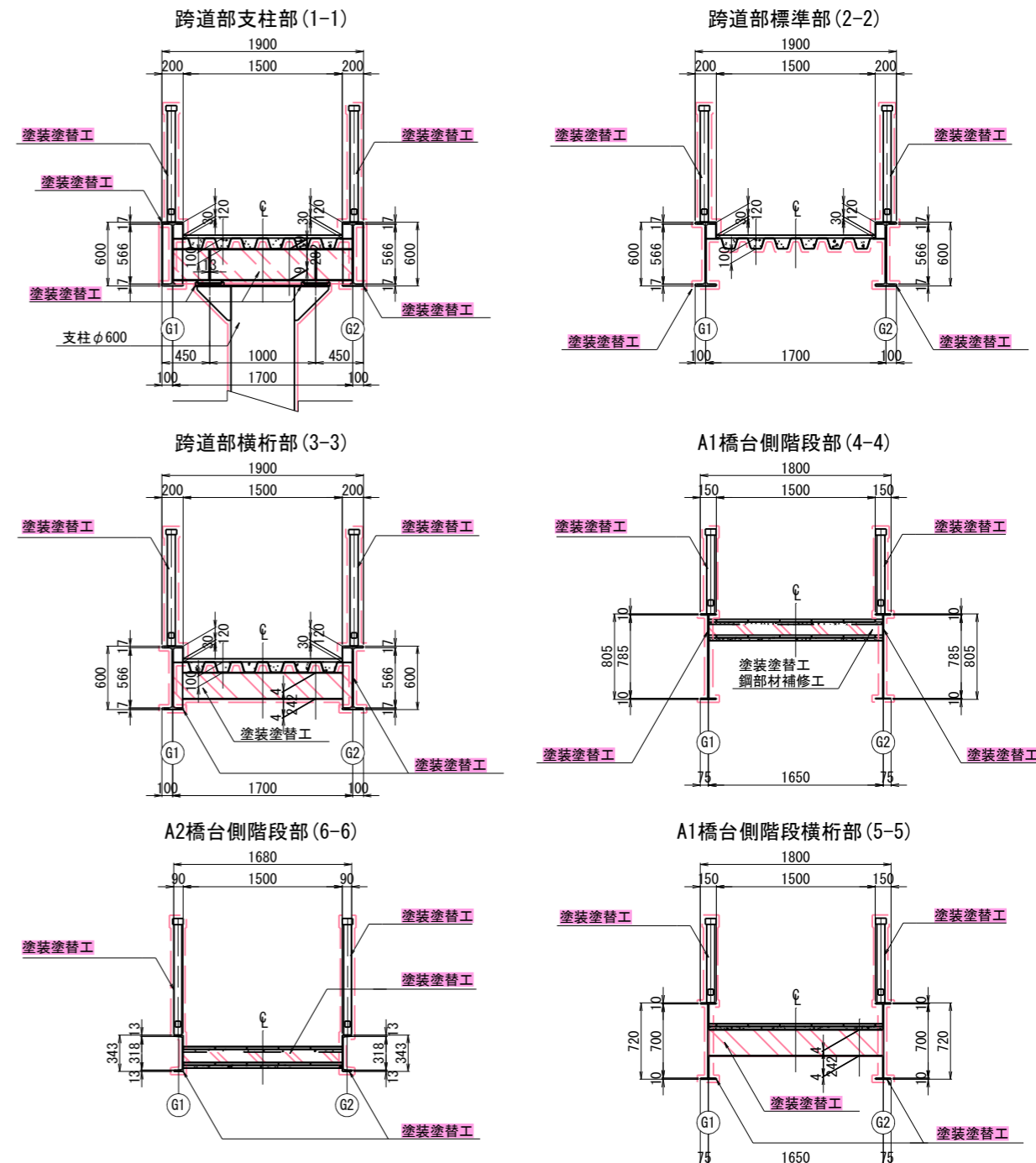
正面図 S=1:50



平面図 S=1:50



断面図 S=1:30



補修項目一覧表

部 材	補修工種	適用箇所
上部構造	塗替塗装工	主桁・横桁・横溝 デッキプレート・床版・地覆
階段部	塗替塗装工	主桁・上部工との接合部 蹴上げ部
支承部	塗替塗装工	アンカーボルト(階段部) 支承部
下部工	断面修復工	橋台
その他	塗替塗装工	高欄・排水管・照明施設

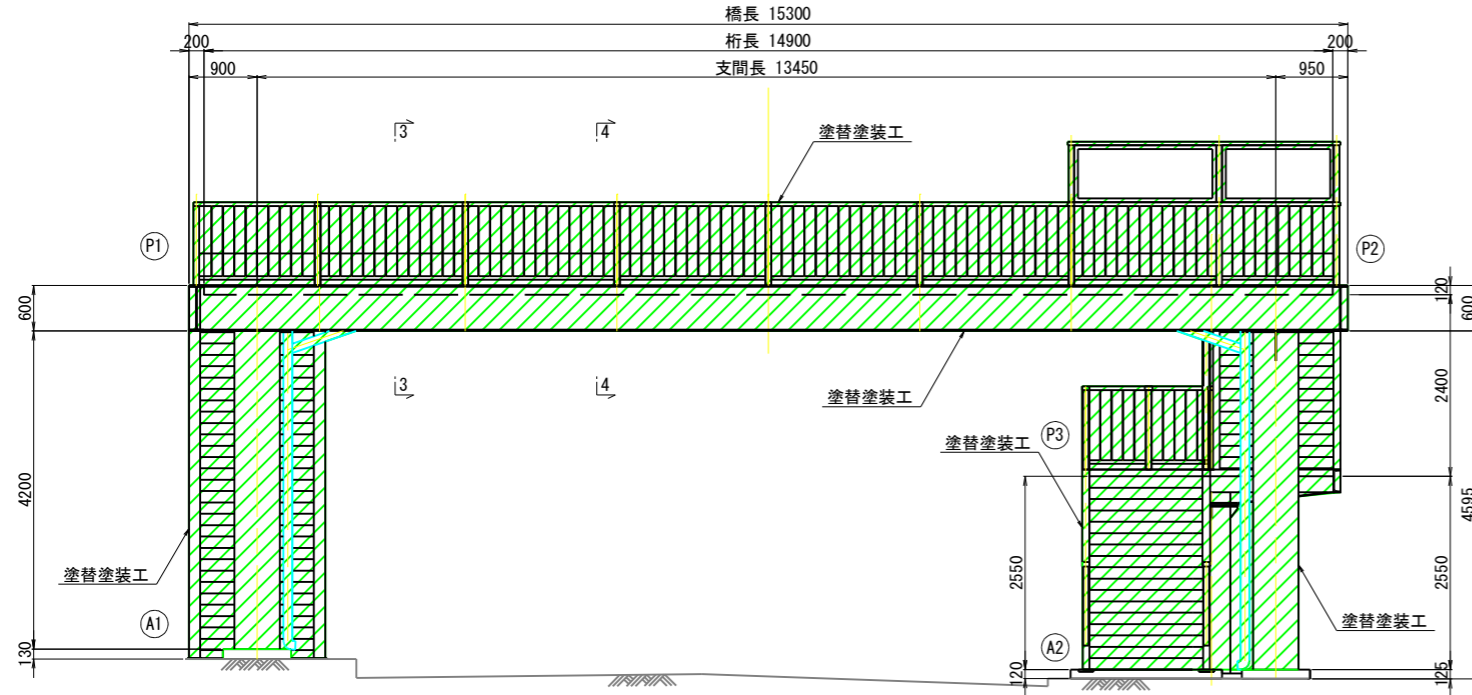
<注記>
1. 形状・寸法は本業務内における寸法計測結果を示すが、各補修工法施工時には改めて現地寸法を確認すること。

工事名	歩道橋補修工事		
図面名	愛宕歩道橋 補修一般図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	1 / 4
会社名			
事業者名	上三川町		

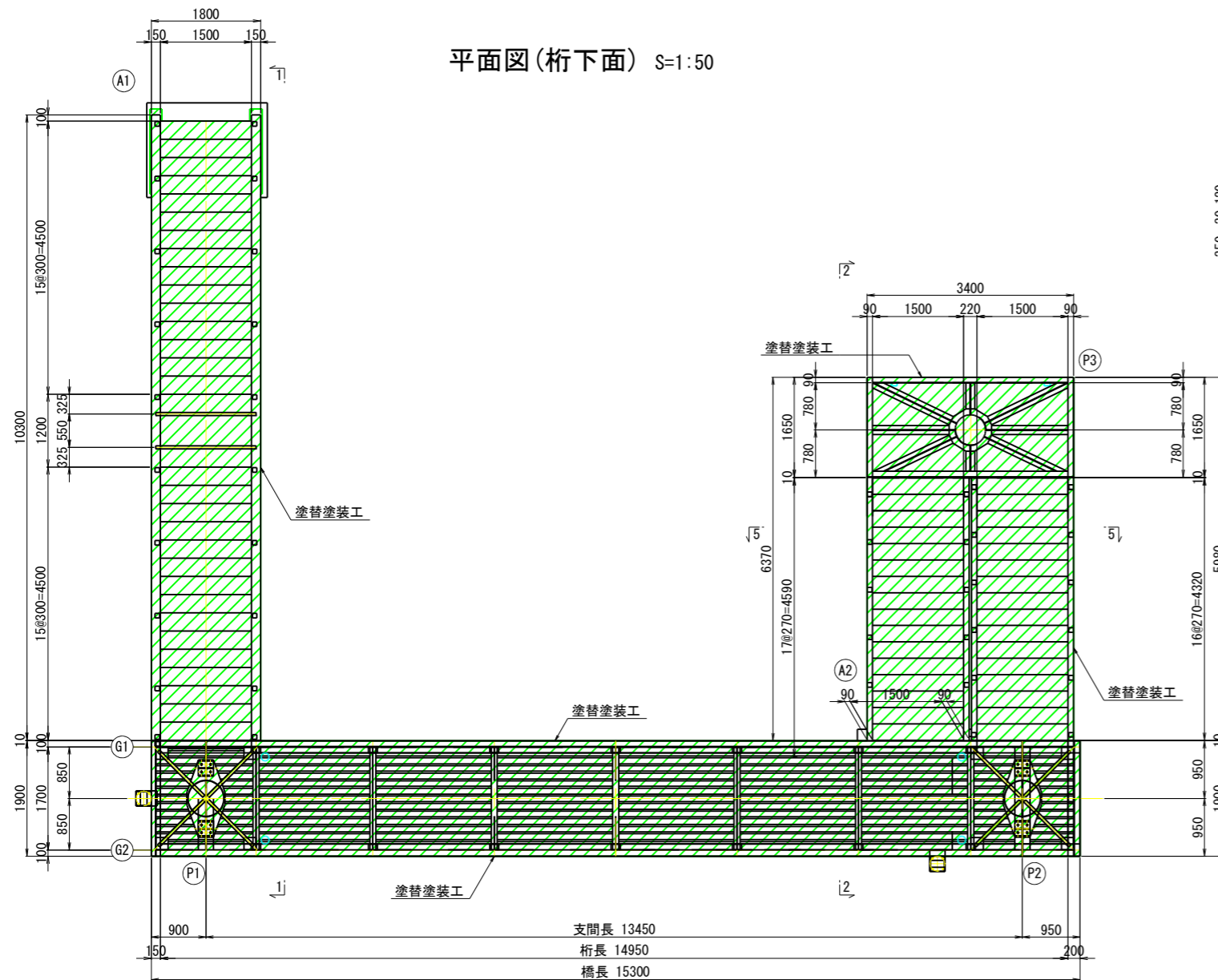
..... 塗替塗装工

愛宕歩道橋 塗替塗装工図

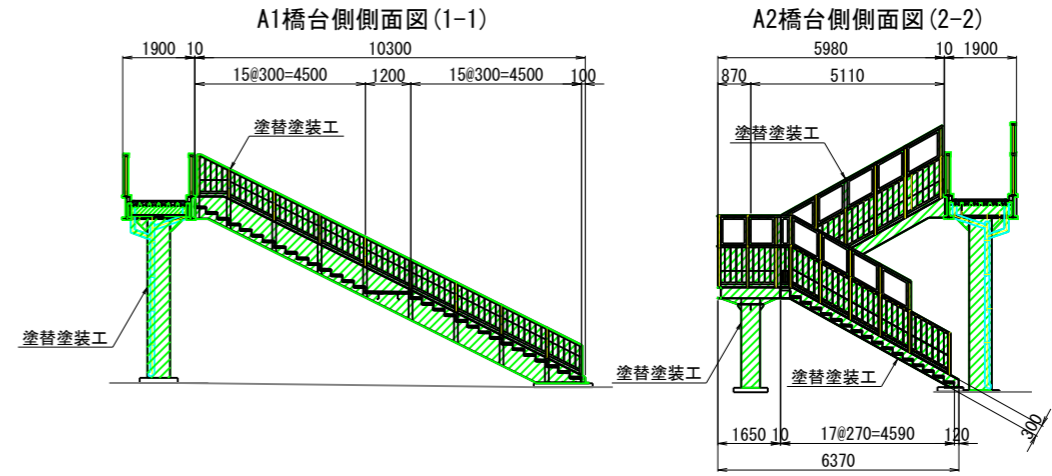
正面図 S=1:50



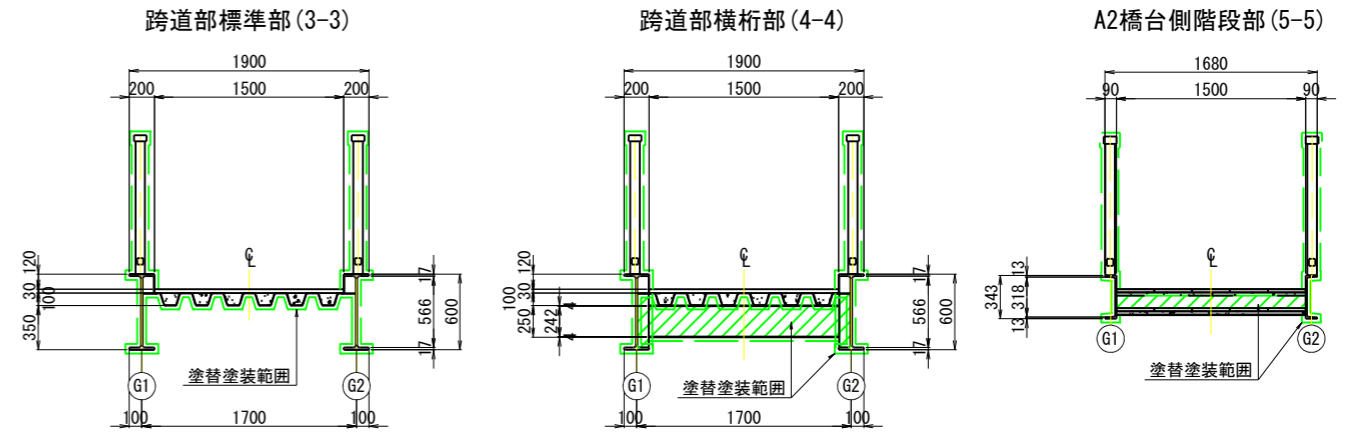
平面図(桁下面) S=1:50



階段部詳細図 S=1:100



断面図 S=1:30



塗装塗替工

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)
素地調整	剥離剤+電動工具(素地調整程度2種相当)	
防食下地	ジンクリッチペイント	143
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂	150
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂	150
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂	300
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂	300

錆転換型防食塗装工 数量表

名称	規格・寸法	単位	数量	備考
塗替塗装工	素地調整(剥離剤)・塗装	m ²	388.0	素地調整程度2種相当
合計		m ²	388.0	

図記号一覧表

表示	補修項目
	塗替塗装工

塗替塗装工 施工手順



<注記>

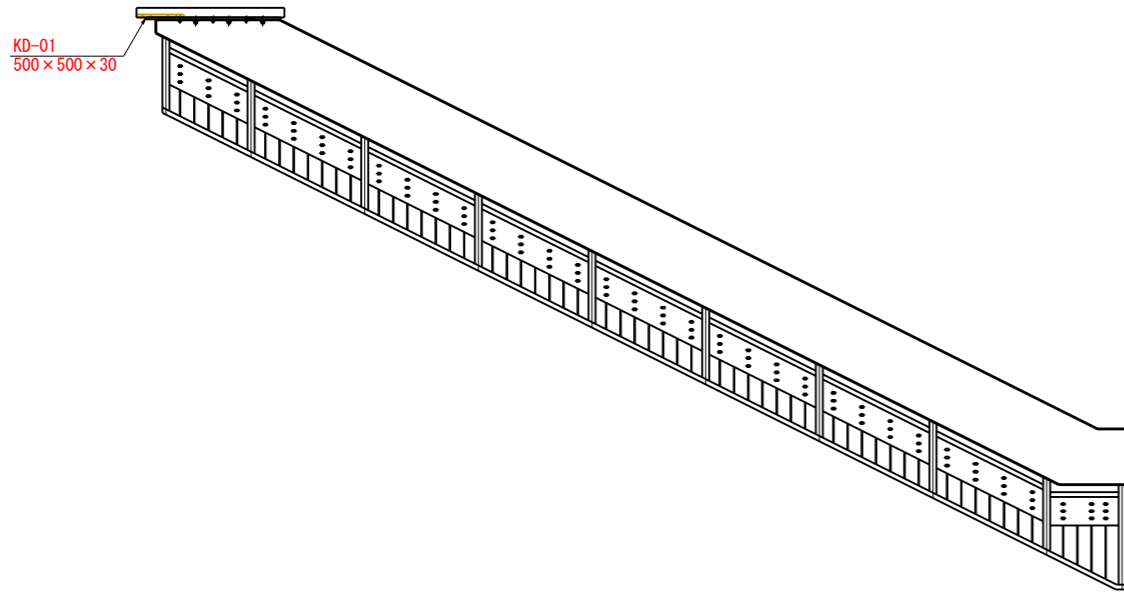
1. 施工時は改めて現地寸法を確認の上、施工範囲を定めること。

工事名	歩道橋補修工事		
図面名	愛宕歩道橋 塗替塗装工図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	2 / 4
会社名			
事業者名	上三川町		

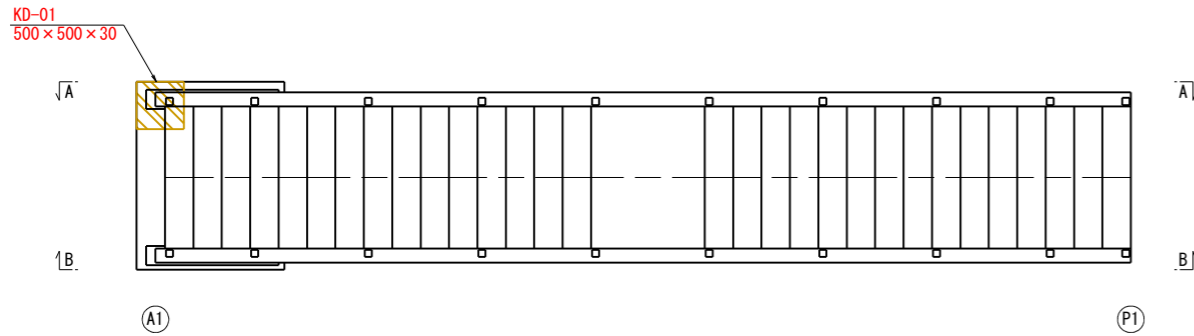
愛宕歩道橋 断面修復工図

A1橋台

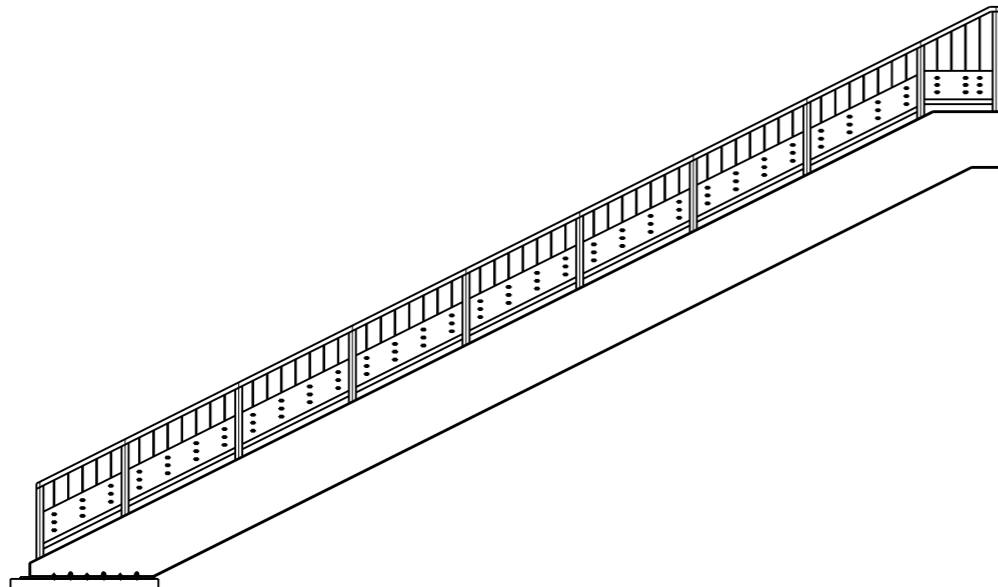
側面図(A-A) S=1:40



平面図 S=1:40



側面図(B-B) S=1:40



断面修復工 数量表
(鉄筋ケレン・防錆処理含まない) 1橋当り

損傷箇所	No.	W×L×平均深さ(m)	V(m3)
下部工	A1橋台	SD-01	0.500 × 0.500 × 0.030
小 計			0.008
施工量合計			0.008

はつり 数量表 1橋当り

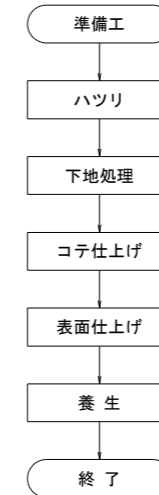
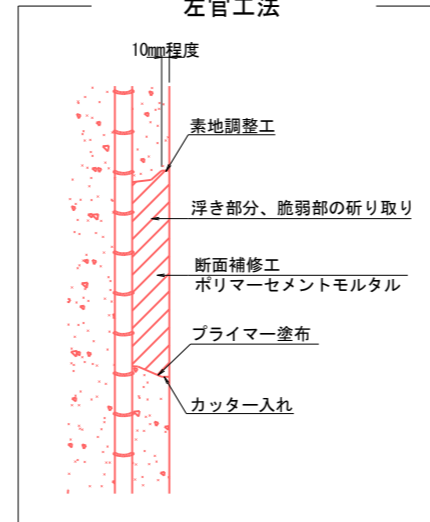
損傷箇所	施工量合計(m3)	備考
上部工	0.000	(鉄筋ケレン・防錆処理含む)
	0.008	(鉄筋ケレン・防錆処理含まない)
施工量合計	0.008	

断面修復工 材料表 1橋当り

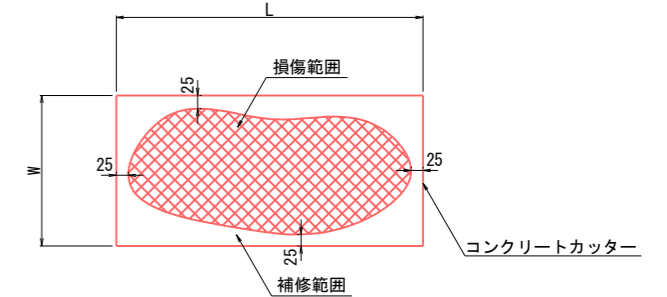
名称	規格	単位	数量
ポリマーセメントモルタル	鉄筋ケレン・防錆処理含む	m3	0.000
	鉄筋ケレン・防錆処理含まない	m3	0.009

断面修復工

(鉄筋ケレン・防錆処理を含まない)
左官工法



断面修復範囲図



※ 損傷部より25mm程度の余裕を確保し、5cmラウンドの長方形の範囲に対して断面修復を行う。

- 注記)
- ・ 補修範囲に10mm程度カッターを入れてから施工すること。
 - ・ 断面修復は、脆弱部をたたき落とした上で実施すること。
 - ・ 断面修復箇所及び数量は、現地にて最終決定すること。

図記号一覧表

表示	補修項目
	断面修復工(鉄筋ケレン・防錆処理含まない)

識別記号一覧表

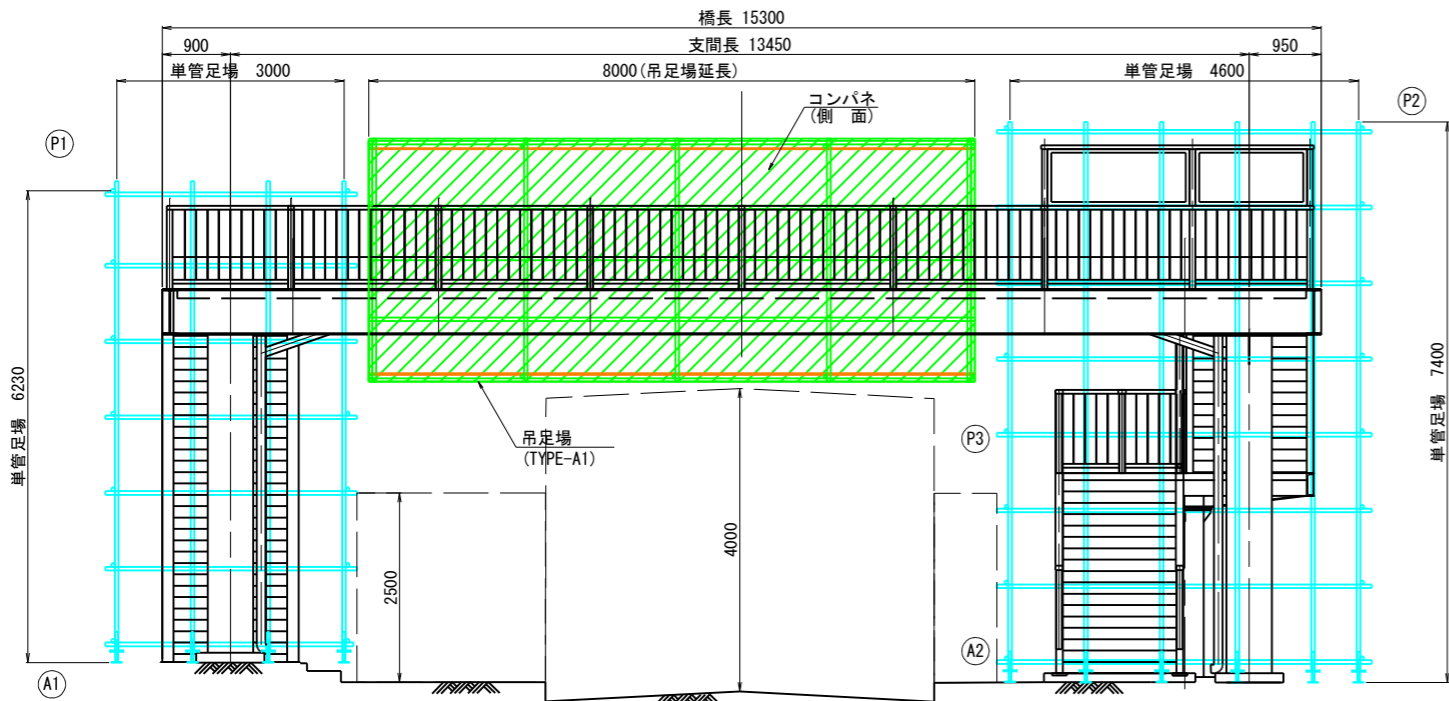
施工箇所	補修項目
KD-00 橋台	断面修復工

- <注記>
1. 施工時は、現地寸法を確認のこと。
 2. 本図面以外の箇所と同様の損傷を確認した場合、監督員と協議の上、対策を実施すること。
 3. 脆弱部は、はつり落とすこと。
 4. カッター及びはつり作業は、既設鉄筋等を傷つけないように注意すること。
 5. 断面修復の範囲は、「現地調査結果」に基づき決定している。施工時は劣化範囲の進展の可能性があるため、劣化状況を確認すること。

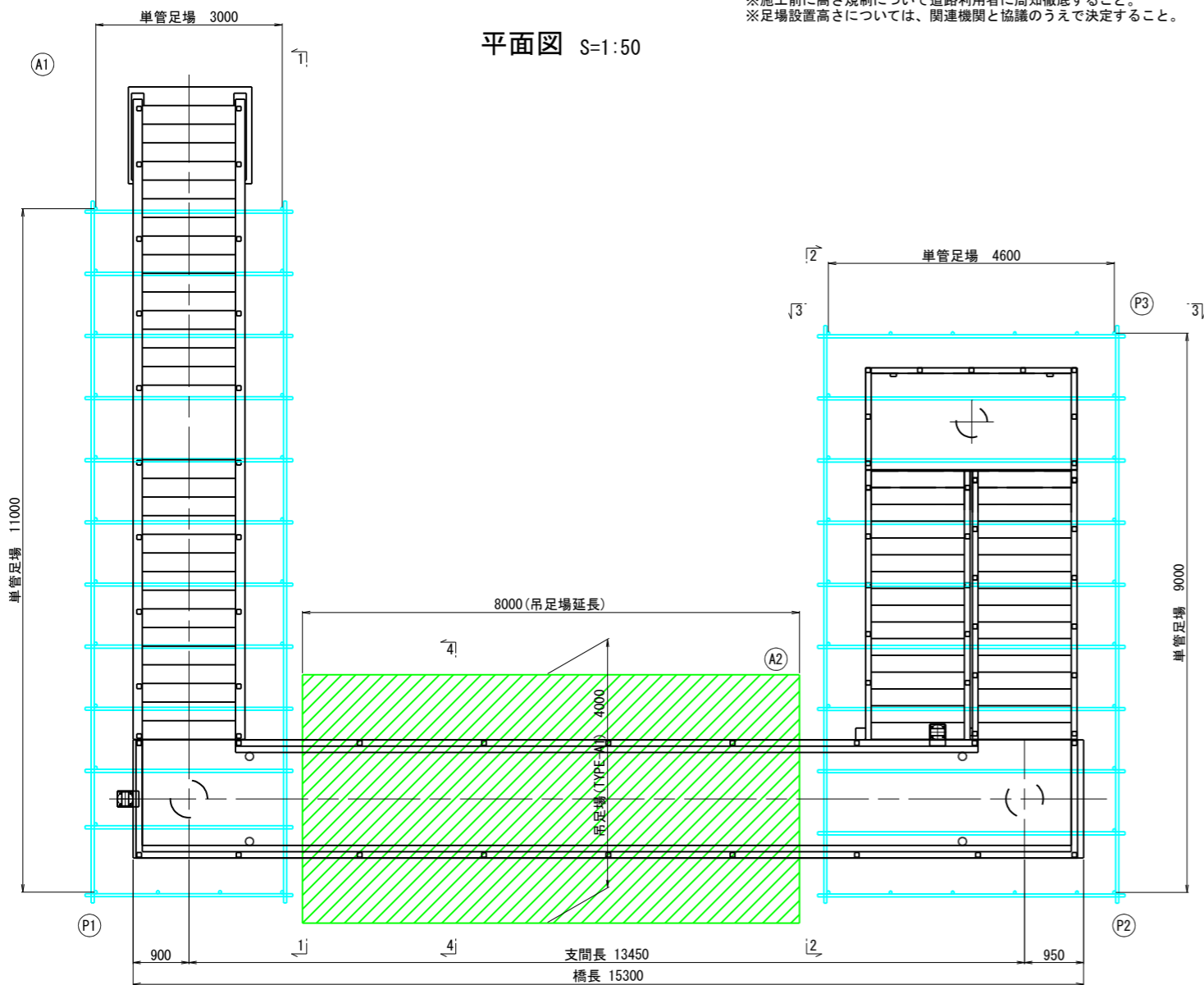
工事名	歩道橋補修工事		
図面名	愛宕歩道橋 断面修復工図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	3 / 4
会社名			
事業者名	上三川町		

愛宕歩道橋 足場工図(参考図)

正面図 S=1:50



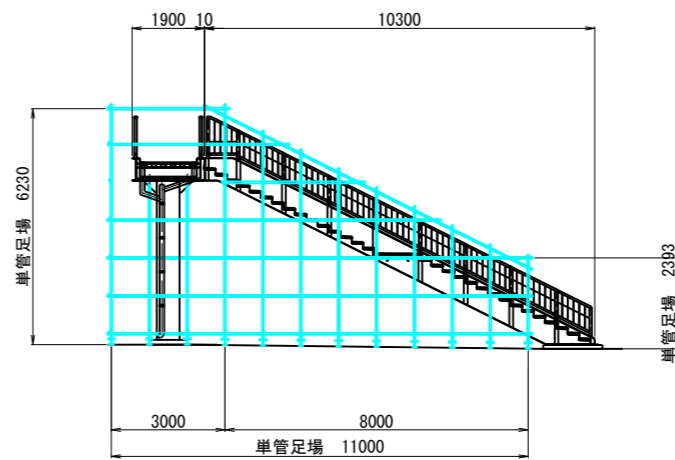
平面図 S=1:50



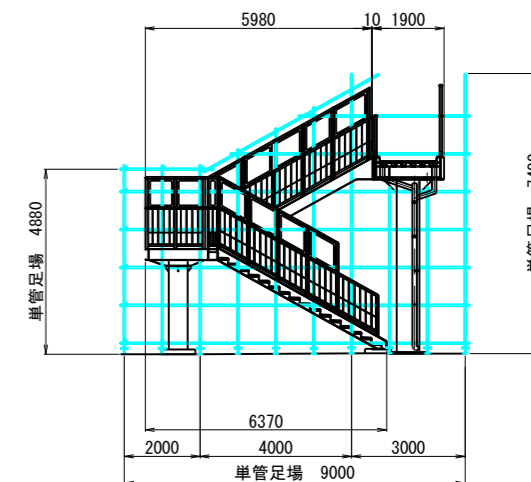
※施工前に高さ規制について道路利用者に周知徹底すること。
 ※足場設置高さについては、関連機関と協議のうえ決定すること。

階段部詳細図 S=1:100

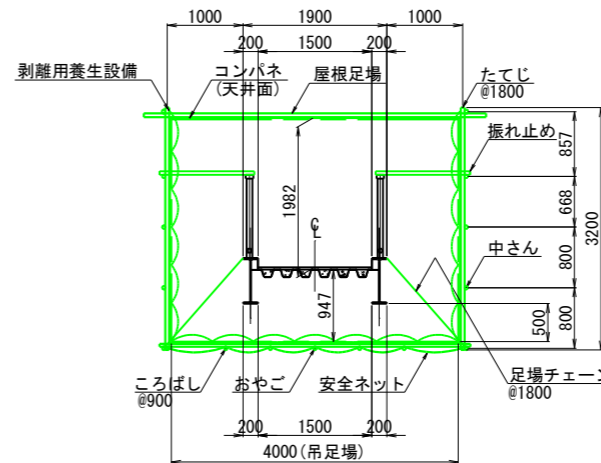
P1橋脚側面図(1-1)



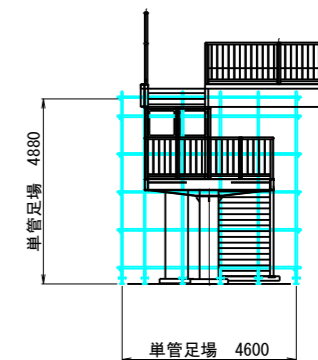
P2-P3橋脚側面図(2-2)



吊足場断面図(4-4) S=1:50



P2橋脚-P3橋脚側面図(3-3)



足場工数量表

種別	数量	備考
吊足場(TYPE-A1)	32.0 m ²	
単管足場	419.5 掛m ²	
剥離用養生設備	306.2m ²	

足場工の種類		足場の種類	主な工種
TYPE	A1	吊足場 (桁高h<1.5)	環境対策工・塗替塗装工

< 注記 >

- 現場施工・製作にあたっては改めて現地寸法計測を行い、施工を行うこと。
- ころばし間隔は900mm以下とする。
- 足場チェーン間隔は1800mm以下とする。
- たてじ間隔は1800mm以下とする。
- 有害物質の飛散防止のため、剥離養生設備を適切に設置すること。

(補修足場の選定)

1. 本計画では、補修内容、現地条件より吊足場(TYPE-A1)を主体足場として考慮する。

工事名		歩道橋補修工事	
図面名	愛宕歩道橋 足場工図(参考図)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	4 / 4
会社名			
事業者名	上三川町		